



《会いと合いの中で愛あふれる学校》

学校だより

上越市立下黒川小学校

第 8 号

令和3年11月1日発行

Tel.536-2467 FAX.536-6506

新たな1ページを刻んだ120周年文化祭

校長 遠藤 俊幸

10月23日（土）、文化祭を開催しました。

まずは、各学年がテーマをもって制作した絵画。学年が上がるにつれて、細やかに描くことができるようになっていく姿に6年間という時間を感じました。大切な思い出や景色、好きな野菜や生き物など、どの作品も画用紙一杯に表現していました。

次に生活科や総合的な学習の時間の展示。1、2年生では、育て始めたばかりの羊の秘密や大切に育てた野菜の不思議なところをたくさん見つけることができました。3年生は学区の町内探検、4年生は柿崎川探検学習、5年生は学校田での米づくり、そして6年生は柿崎のよさを深く学ぶ学習に取り組みました。6年生のまとめに次のような感想がありました。

「柿崎は何もないようで、何でもある場所です。それは柿崎の皆さんが自然を大切にしているからです。」「柿崎は自然がたくさんあるけれど、これは人が手入れをして下さっているからです。」「私が思っていた柿崎とは全く違う柿崎が見えた。食・自然・歴史があり、すごいもの・すごい人がいる所だ。」・・・柿崎を愛し、大切なものをいつまでも守っていきたいという強い思いが伝わってきます。

この生活科や総合的な学習の時間では、たくさんの地域の人から協力していただいています。皆様との出会いが児童の心に火をつけ、学びを発展させ、大切なものを守るという心（愛）を育んだものと考えます。深く感謝申し上げます。

体育館では、恒例のダンスフェスティバル。どの心班のダンスも、工夫があり、見ている人にエネルギーを与える熱いパフォーマンスでした。私も、体が自然と動いたり、手拍子をしたり、とても楽しい時間を過ごせました。

また、オープニングでは5、6年生が和太鼓の演奏を披露してくれました。迫力のある太鼓の音、リズムが体に心地よく響きました。そして、全身を使って音楽を表現する姿に感動しました。この太鼓によるパフォーマンスは、今年で120周年を迎えた下黒川小学校に新たな1ページを刻んでくれました。約2か月にわたって練習に取り組んだ5、6年生の皆さん、ありがとうございました。

最後に、わくわくしあわせタイム。学校運営協議会委員の皆様が中心となって企画し、地域の皆様やPTA役員の皆様の協力も得て、スマイルボウリングや昔の遊びなど、7つのブースに分かれ、活動が行われました。どのブースの子どもたちも笑顔で輝いていました。楽しい時間を創っていただき、ありがとうございました。

今年の文化祭スローガンは、「みんなで楽しみ 笑顔あふれる120周年文化祭」
～ 楽しめば 笑顔になる 笑顔が増えれば みんなが楽しめる ～ 笑顔と楽しさがあふれた文化祭となりました。

「みんなで楽しみ 笑顔あふれる 120周年文化祭」



わくわくしあわせタイム

